

SGI® InfiniteStorage 4100

高いコスト効果を誇るミッドレンジRAID

特長

- ・ 8Gbファイバ・ホストインタフェース
- ・ 優れたデータ保護機能
- ・ SSD、ファイバチャネルまたはSATAのマルチドライブ対応

SGI InfiniteStorage 4100は、エンタープライズ・ユーザー向けの高いコスト効果を実現したミッドレンジのストレージ・システムです。スケーラビリティに加えて、高度なデータ保護機能を提供することで、パフォーマンス、信頼性、堅牢性といったハイパフォーマンス・コンピューティングに必要な高い機能要件を満たします。

小規模から大規模にまで対応

SGI InfiniteStorage 4100は、バランスのとれたストレージ・プラットフォームを採用しており、異なるタスクを複数実行できるため、ミッドレンジでの使用に最適です。次世代の8 Gbファイバチャネル・アーキテクチャおよび非常に高いパフォーマンスを誇るドライブを採用した4100は、インフラストラクチャおよび多数のドライブの導入にかかるコストを削減しつつ、求められるパフォーマンスを発揮します。

これまでにない高密度およびストレージ効率

現在、扱われるデータ量は増加の一途をたどっており、データセンタ環境を圧迫しています。このような課題を解決するには、ラックの効率的利用が必要不可欠です。SGI InfiniteStorage 4100では、ハイパフォーマンスSSD(※)、ファイバチャネルおよび大容量SATAドライブが1つのエンクロージャに収められます。シームレスな拡張が可能であり、ストレージ・システムを要件に応じて変更できます。もはや、不要な機能やキャパシティにコストをかける必要はありません。

高いコスト効果

SGI InfiniteStorage 4100は、コスト効果に優れ、中小企業の予算にもフィットします。容易な拡張が可能であるため、規模の拡大によるキャパシティ要件およびパフォーマンス要件の変更にも迅速に対応できます。単一の統合モジュールには、冗長のコントローラおよびドライブ容量が含まれ、ほとんどのサーバ・アプリケーションおよびワークグループ・アプリケーションに対応しています。

高可用性およびデータ・セキュリティ

競争が激しい環境において、データおよびアプリケーションは24時間365日利用可能である必要があります。SGI InfiniteStorage 4100は、ホットスワップ対応の冗長コンポーネント、バッテリー・バックアップによるキャッシュのミラーリングおよび自動パス・フェイルオーバーを特長としており、万一の場合にも、データへのアクセスを可能としています。効果的なスナップショットやリモート・ミラーリングといった拡張された業務継続性機能によって、クリティカル・データの保護を実現するとともに、アプリケーションの不具合からの迅速な回復を可能にします。

投資の保護

業務を取り巻く状況にかかわらず、SGI InfiniteStorage 4100は、どのようなニーズにも対応します。アプリケーションの要求が高まった場合は、InfiniteStorage 4100システムをエンタープライズ・クラスのInfiniteStorage 4600にアップグレードできます。InfiniteStorage 4600コントローラに交換するだけで、既存のデータはそのままに、より高いパフォーマンスが得られます。

(※)2011年リリース予定



SGI® InfiniteStorage 4100

| | |
|---|---|
| コントローラ <ul style="list-style-type: none">RAIDコントローラ デュアル、アクティブキャッシュ・サイズ 4GB(デュアルコントローラ合計)ホスト・インタフェース 8Gbファイバチャネル(ポート×4)パーティション 2(標準) | 環境 (動作時) <ul style="list-style-type: none">温度 10°C~40°C相対湿度 20%~80%(ただし結露しないこと)温度変化 10°C/時標高 最低:-30.5m 最高:3,000m発熱量 540W(エンクロージャあたり最大) |
| コントローラ管理 <ul style="list-style-type: none">RAIDレベル 0、1、1+0、3、5、6キャッシュ・バックアップ 停電時にはフラッシュメモリ領域へ退避LUN数 パーティションあたりのLUN数は256(システムあたり合計2048)グローバル・ホットスペア・ドライブ数 上限なし電源および冷却装置 デュアル、冗長化、ホットスワップ対応対応最大ドライブ 112 | ホストソフトウェア(オプション) <ul style="list-style-type: none">CXFS®<ul style="list-style-type: none">ヘテロジニアスなSAN対応共有ファイルシステム。同一バージョンのコンテンツを複数ユーザがファイバチャネル速度で共有することを可能にし、データ複製の必要性をネットワーク中で排除対応プラットフォーム:Solaris™, Microsoft® Windows® 2000/NT, AIX, MAC OS X, 32ビットLinux®, 64ビットLinux®DMF<ul style="list-style-type: none">データ・ライフサイクル管理(アーカイブ)ポリシー自動化ソフトウェア。ストレージ・デバイスを仮想化し、階層型仮想ストレージ・プール中のデータのデジタル・コンテンツのマイグレーションとアーカイブをビジネスポリシーに従って自動化 |
| ソフトウェア機能 (オプション) <ul style="list-style-type: none">追加パーティション 4、8、16、64、128スナップ・コピー 4または8スナップボリューム・コピー 対応リモート・ボリューム・ミラーリング 32または64のリモート・ミラー | 電源 <ul style="list-style-type: none">コントローラ・エンクロージャ 636W max @ 240 VAC(180~260 VAC、50/60 HZ)16ベイ・エンクロージャ 472.8W max @ 240 VAC(180~264 VAC、50/60 HZ) |
| コントローラ・エンクロージャ寸法と重量 <ul style="list-style-type: none">高さ 13.5cm、3U幅 44.7cm奥行 59.7cm重量 41.0kg | 品質規格 <ul style="list-style-type: none">ISO9000準拠の工程による製造UL 1950, CSA 22.2 No. 950, IEC 950, EN 609RoHS指令準拠 |
| ドライブ・エンクロージャ寸法と重量 <ul style="list-style-type: none">高さ 13.5cm、3U幅 44.7cm奥行 59.7cm重量 40.1kg | 省エネ法に基づく表示 <ul style="list-style-type: none">エネルギー消費効率 0.0393(16bay 1TB SATA使用時)区分 i |
| 40Uラック寸法と重量 <ul style="list-style-type: none">高さ 198.1 cm幅 60.9cm奥行 101.6cm重量 135 kg(ユニット未載時) | |
| 対応ドライブ <ul style="list-style-type: none">FC: 300GB 15K RPM, 450GB 15K RPM, 600GB 15K RPMSATA: 1TB 7.2K RPM, 2TB 7.2K RPM | |
| 対応オペレーティングシステム <ul style="list-style-type: none">SLES 10.3, 11.1RHEL 5.6, 6.0VMware 3.5, 4.1Windows Server 2003Windows Server 2008 | |

日本SGI株式会社

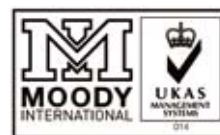
〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階

<http://www.sgi.co.jp>

| | |
|-----------|--|
| 本社 | TEL : 03-5488-1811(大代表) FAX : 03-5420-7201 |
| 西日本支社 | TEL : 06-6479-3918(代表) FAX : 06-6479-3919 |
| 中部支社 | TEL : 0565-35-2561(代表) FAX : 0565-35-2189 |
| つくば・東北事業所 | TEL : 029-858-1551(代表) FAX : 029-858-1071 |
| 東北営業所 | TEL : 022-221-2301(代表) FAX : 022-221-2304 |
| 北海道営業所 | TEL : 011-708-1511(代表) FAX : 011-758-2789 |

©2011 SGI Japan, Ltd. All Rights Reserved.

仕様は予告なしに変更される場合があります。SGI、SGIのロゴマークは日本SGI株式会社登録商標です。その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。(06/2011)



日本SGIは地球環境に優しい企業へ

このカタログは、環境に配慮した植林木を使用しております。日本SGIは様々なソリューションの提供を通じてお客様の製品の開発・設計の過程において発生する紙や燃料等の資源消費量やCO2排出量の低減を行い、省資源、省エネルギー化に貢献しています。

ISO14001:2004 認証取得